敬老カード

上限額引き上げの早期実施

Fax通信 ０７年11月7日
札幌敬老パスを守る連絡会

白石区菊水3条3丁目 井上ビル
札幌社保協気付 TEL ８２３－０８６７
Fax ８２１－３７０１

議論・合意と準備が必要で来年度実施は無理

「札幌敬老パスを守る連絡会」は、11/2に市の保健福祉部長・高齢福祉課と、①敬老カード上限引き上げを08年度から実施、②負担金を定率にすべき、③高齢者の意見を聞くこと、について話し合いました。

11/2市役所での話し合い

限度額引き上げについての回答

①限度額の引き上げだけでなく、その場合の負担額・率をどうするかなども多くの人の意見、議会の意見なども聞かなければならないので、すぐには実施できない。②実務的にもすでに来年度の準備を進めている段階で、変えることは無理である。財政の問題ではない。

０８年１０月実施などはできないのか

交付の実務、負担金をどうするかなど、かなりむずかしい。

負担金問題の回答

５万円を超えるカードの負担率を２５％にする案などを検討しているが、どの程度にするかは議論の上で決まる。負担金導入時にも議論を経て今の累進型に決まっているので、すぐに定率にするということも難しいのではないか。

意見を聞くこと

１１月に高齢者意識調査などを実施（高齢者6,000人若年層4000人）するので、そこに敬老カードの設問も入れたい。

その他出された意見

敬老カードの額が上がると喜んでいたが、負担も上がるのでは結局買えなくなる。高齢者の生活はきびしい、外出支援の制度に良くしてほしい。高齢者は夏場はできるだけ歩き、冬にカードを残して使う人が結構いる。実情がよく分かるような調査をしてほしい。

06年度の返還について

カードの返還は2万人程度。2･3月に一斉に窓口へ集中したので、一部混雑した所もある。返金に１～2ヶ月かかるので、新たな対応も考えたい。

追加交付について

昨年に比べ交付期間を2ヶ月に延長したので、昨年より3～4千人増えた。今回苦情はほとんど来ていない。

07年度交付の特徴

今までと交付率なども同様で、大きな変化はない。

07年度の3月･9月利用額別交付状況
06年度カード返還状況

０７年３月交付（10/22）	
平均申請額	32,900円
１万円選択	21.7%
２万円	18.1%
３万円	11.6%
４万円	6.6%
５万円	42.1%

０７年９月交付（10/22まで）	
平均申請額	19,100円
１万円選択	40.3%
２万円	28.0%
３万円	31.7%

2006年度返還実績	
返還枚数	29,441
返還者数	20,414
返還総額	63,651,000